

# 夕張市における財政再建の基本的な考え方

平成18年9月4日

夕 張 市

夕張市は、我が国の主要な産炭地として発展してきたが、エネルギー事情の大きな変化により昭和30年代後半以降、平成2年までの間、炭鉱閉山が相次ぎ、人口はピーク時の10万8千人から、現在1万3千人までに激減するなど、地域の経済社会構造は急激に変化してきた。

このような歴史的経過の中で、夕張市は、雇用の場を創出し、人口の流出を食い止めるとともに、市民に対する行政サービスを確保するため、石炭産業に代わる観光振興、住宅や教育、福祉対策などに多額の財政支出をおこなってきたが、その行政運営は、本市財政の許容範囲を超えたものとなった。

また、人口の激減に対応すべき組織のスリム化は大きく立ち遅れ、総人件費の抑制も不十分であったこと、さらには社会基盤整備に伴う公債費負担が拡大してきたことなどから、本市の財政は極めて硬直的な状況に陥ってきた。

とりわけ、財政状況が逼迫する中でとってきた一時借入金を財源とする、会計間・年度間における不適切な会計処理手法により、赤字決算を先送りしてきたことによって、実質的な赤字は膨大な額となった。

夕張市は、これまでの不適切な財政運営を深く反省し、これを改め、多額な債務を確実に返済することとし、今後、徹底して情報公開を進め、市民の理解と協力も得ながら、行財政全般を根底から見直し、地域の将来に向けて透明性の高い持続可能な財政構造に向け、不退転の決意で財政再建に取り組むこととする。

## < 財政再建に取り組む基本的な考え方 >

### 財政再建に取り組む基本姿勢

#### 1 市の行財政運営の根本的な変革

地域の将来を確かなものとするを基本に、既成の考え方や過去の経緯にとらわれることなく、行財政運営のあり方を根本から変えるという強い意志をもって財政再建に取り組む。

#### 2 市の関与する事業全般にわたる改革の徹底

法に基づく再建の対象となる普通会計及び病院事業会計等もとより、特別会計、公社・第三セクターの全般にわたり、不要不急の事業の休止・中止、将来性についての厳しい見極めと不採算事業の中止、経営の統廃合等も含めた抜本的な改革を実行する。

#### 3 再建を確実に行うための重点的取り組み

市財政が今日のような状況に至る大きな要因と考えられる総人件費、観光事業、病院事業を財政再建の重点分野と位置づけ、徹底した見直しと確実な改革の取り組みを進める。

#### 4 市民の理解と協力の下での財政再建

夕張市の置かれた危機的な状況について、市民等に対する確かな情報提供を行い、市自らが徹底したスリム化を進める姿勢を示しつつ、一定の行政サービスの低下や住民負担の増加について、市民の理解と協力を得ながら、財政再建を成し遂げる。

#### 5 暮らしと経済を支える効果的な施策展開

急速に高齢化が進む市民の生活、地域の活力を支える経済活動が持続可能なものとなるよう、市民と行政の協働の視点を重視しながら、効果的、効率的な施策展開に努める。

# 分野ごとの取り組みの方向

## 1 事務事業の抜本的見直し

- (1) 住民生活に必要な最小限の事務事業以外は、中止・縮小する、補助金の支出は原則取りやめるなどという、ゼロベースでの見直しを行う。
- (2) 組織や施設等の集約化・廃止など徹底したスリム化を進める。
- (3) 第三セクターに対する赤字補てん的支出を行わない。

## 2 歳入の確保

- (1) 市民の過重な負担増とならないよう 配慮しつつ、市税負担の見直しを行う。
- (2) 使用料・手数料など受益者負担の見直しを行う。
- (3) 税や使用料などの徴収率の向上対策に努める。

## 3 総人件費の大幅な抑制

- (1) 職員採用の停止 及び 早期退職の促進により、職員数の早期削減を図る。
- (2) 組織・機構の見直しにより、職員数の大幅な削減を図る。
- (3) 給与水準の引き下げや制度の見直しにより、人件費の抑制を図る。

## 4 観光事業の見直し

- (1) 不採算の観光事業は、実施しない。
- (2) 委託業務のうち公園等 公共性の高い施設の管理業務に係る経費の削減を図る。
- (3) 業務の委託先の見直しや観光施設の民間売却を進める。

## 5 病院事業の見直し

- (1) 「公営企業再建計画」による抜本的な医療・経営改革に取り組む。
- (2) 他の医療機関との連携を図るとともに、必要最小限の医療機能を存続させることを基本に、経営改革に取り組む。
- (3) 不良債務の計画的解消を図る。

## 今後の対応

上記の取り組みを基本に、国や道 等と十分連携を図りながら財政再建計画を策定し、財政再建に取り組む。